

令和6年度第三者評価 改善状況報告書

令和7年3月31日

施設名	芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ	施設所管課	芝浦港南地区総合支所管理課
所在地	東京都港区芝浦4-20-1	指定管理者	公益財団法人 東京YMCA

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和7年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和7年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
子どもに居場所を提供するための心得などをまとめた「わたしたちの約束-居場所事業の目指すこと」を活かして、経験の浅い職員の教育に注力し、さまざまな居場所を提供していくことが期待されます。		<ul style="list-style-type: none"> 職員一人ひとりに「わたしたちの約束」の冊子を配布し、利用者との適切な関わり方を心がけるよう促した。 事務所内の職員が目にする場にポスターを掲示し、日常的に意識するようにした。 法人内の他の学童クラブ等の職員も含めた職員研修において話し合う場を設け深めるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> 新入職員には採用研修において冊子を配布し研修の場を設ける。 第三者評価の結果も踏まえ、ポスターの掲示、各部屋の環境を確認し、利用者が過ごしやすい環境を整える。 「わたしたちの約束」を浸透させるタスクチームを作り、研修の場などを設けるようにする。また、見直しも含めた話し合いをタスクチームの中で行う。 	福祉サービスの質の向上を目指すに当たり、従事職員一人ひとりの倫理観や職務知識の定着が求められます。経験豊富な職員だけでなく、経験の浅い職員も従事しているため、日頃の研修等を通じて、子どもから高齢者まで過ごしやすい居場所の提供に努めるよう協力していきます。
開設当初から安定した運営を行っている一方で、企画するプログラムなどが多すぎるといった課題があるため、今までの当たり前を改めて見直し、より質の高いサービスを提供することが期待されます。		<ul style="list-style-type: none"> プログラムについては、基本的には事業計画に則り実施したが、次年度に向けて職員からの意見を聴いた。 令和7年度事業計画作成において、職員間でプログラムの見直しをした。 マンネリ化にならないよう毎年新しいプログラムを企画するようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> 実施したプログラムに対し振り返りを行い、定期的に継続又は内容の見直しが必要か検討する。 社会情勢などに合わせて年度途中でも必要に応じて新たなプログラムを検討する。 地域の企業や団体との連携を図り、新たなプログラムの提供ができるようにする。 	多種多様なプログラム活動が展開されており、参加者にとっても興味が尽きないよう工夫が行われています。今後はプログラムの内容にも重点を置き、誰もが興味、関心を持つことができるプログラムの充実を図っていただくことを期待しています。
高齢者事業にかかわる職員の教育における研修が充実している一方で、学習活動や健康づくり、交流や地域活動などにかかわる研修が少ないため、幅広い分野の研修を充実させ、より魅力的な高齢者の居場所となれる環境を提供することが期待されます。		<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価アンケート、利用者アンケートなどをもとに利用者のニーズを確認した。 高齢担当だけでなく、一般、学童のスタッフも利用者との関わりを持つようにした。 同法人が運営している他の同様な事業所との情報交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政、法人、各種団体が実施する研修に職員を参加させる。 事業部内においてタスクチームを設け、高齢者事業の幅広い学びの場を設けるようにする。 利用者とのロビーワークも大切にし、日常的にニーズを把握するように心がけ、ハード、ソフト両面からの環境を整えるようにする。 	児童と高齢者がふれあう機会を積極的に設け、世代間交流を促進する施設として、多岐にわたる分野に精通している職員の教育に努める必要があります。高齢者事業等の専門性が高い分野については、内部研修だけでなく、外部研修も積極的に受講することで、より一段と実務に活かせるはずです。